

亡き夫が託した店と荒浜の記憶を受け継ぎ、次世代へ…
(被災中小企業施設・設備整備支援事業)
ごはんと麺の店 見晴 (みはる)

事業概要

JR互理駅東側に店舗を構える飲食店「見晴 (みはる)」の店主・山川みゆきさんは、夫の山川晴夫さん(享年58歳)を東日本大震災で亡くした辛い悲しみを乗り越え、被災前から営んでいた食堂部門を再びスタートさせました。

もともと互理町荒浜地区にあった民宿・食堂「見晴」は、昭和54年に開業し、荒浜漁港で水揚げされた海産物をふんだんに使った海鮮料理や郷土料理はらこ飯を食べに来る多くのお客で賑わっていました。しかし、東日本大震災で建物は全壊。平成27年6月にJR互理駅東側に移転し、現在は飲食店として日々奮闘しています。

店舗の復旧費用には、国のグループ補助金とともに、[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)を活用しました。店舗復旧後は、昔の味を懐かしむ古くからのお客や、荒浜地区から移転を余儀なくされた馴染み客などで賑わっています。見晴の看板メニュー『鳥の海ラーメン』は、麺の上にカニ1杯丸ごと乗せた見た目も食べ応えも豪快な料理として人気の一品で、他には荒浜の郷土料理はらこ飯、荒浜で水揚げされた魚にこだわった煮魚定食、中華料理店で修行した長男・山川洋嗣さんが手掛ける麺類やご飯類がメニューとして並んでいます。「二丁目黒タンタンメン」、「五丁目五日焼きそば」、「築港から〜い広東メン」など、メニューの名称には、震災で消えた行政区の名称を入れ、一緒に店舗を切り盛りする長男夫婦とともに、夫から託された店と荒浜の記憶を受け継いでいます。

事業者の声

無利子貸付の[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)は復旧資金として大変助かりました。

おかげさまで店舗の復旧も果たすことができましたので、互理町へお越しいただき、ぜひ当店自慢のメニューをお召し上がり下さい。

事業者概要

店主 : 山川 みゆき
住所 : 互理郡互理町字東郷147-7
電話 : 0223-36-9909
業種 : 飲食店
種類 : 中華料理、郷土料理など
営業時間 : 昼 11:00~15:00
(ラストオーダー14:30)
夜 17:00~21:00
(ラストオーダー20:30)
定休日 : 毎週火曜日、月1回月曜日不定休



[平成27年6月に移転した店舗]



[看板メニュー 鳥の海ラーメン]

[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)は、グループ補助金等の認定を受け、復旧・復興を目指す中小企業者の方等に対し、復旧資金の無利子貸付を行う事業です。